

株式会社カタ技術

放電加工機を駆使し、
金型・機械部品を精密加工

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドインジャパン
試作可
小ロット



ワイヤーカット機を駆使して金型・部品を加工

業務内容

創業は金型工場、放電加工の技術で顧客拡大

金型工場として創業。その後ワイヤーカット放電、型彫放電、細穴の各電気加工やレーザー加工技術を磨き、パナソニック株式会社等の金型や機械部品を金属加工している。情報家電やカメラなどの金型、精密機械部品が主力。掌に乗るサイズが多い。電気で加工するため、通電するもの何でも加工できる。超硬や焼入済のダイス鋼、ステンレス、ハイスといった特殊材料から一般構造用圧延鋼材などの一般的な材料まで幅広くカバーする。レーザーではステンレス板、炭素工具鋼材、リボン鋼を主に加工し、ベニア板などでも実績がある。大阪府以外の顧客も含めると、のべ約200社の取引先を持つ。

強み

短納期がセールスポイント、顧客への提案営業も推進

納期の早さが身上。朝に注文を受けても夕方に、夕方に注文を受けても翌朝には納品できる。しかし、納期に間に合わない場合もある。無理に受注せず、迷惑をかける場合も重視する。単に図面通り加工するのではなく、なぜそのような寸法になるのかなど問題があると判断すれば、顧客とも事前に徹底的に打ち合わせする。CADやCAMも駆使し、生産技術を磨いてきた。微細加工を手がけてきたので、精度にも自信がある。特定の顧客や加工品にのみ専念せず、さまざまな顧客と加工品の相談に応じられる。

設備導入

受注は好調、ワイヤーカット機や放電機を更新予定

稼働している主な加工機械は現在、ワ

イヤークット放電が2台、型彫放電が2台、レーザーが1台、細穴が1台。受注の引き合いは設備能力を上回るため、断る仕事もあるほどだという。そこで、ワイヤーカット放電機を平成25年度中に1台導入する予定だ。導入するのは±3mmの加工精度を出せる新鋭機種で、高精度加工の強みを大幅に補強する。導入後は生産能力が大幅に高まり、断っていた仕事も受けられるようになる。課題は年数が経った設備の更新。2台の放電加工機も今後、入れ替える計画だ。

今後の展望

夢はオリジナル製品、尊敬されるモノづくりの会社に

片山要社長はカタ技術に入社する前に2年間勤めていた三菱電機株式会社伊丹製作所で、設計者として図面を描いていた職歴がある。創業者の長男として跡を継いだ「いずれは自分たちで図面を描き、オリジナルの製品をつくるのが夢」と語る。現在の仕事は顧客の図面通りに加工する仕事を中心のため、いずれは社員にもオリジナル製品を設計する喜びを経験してもらいたいという。



一人ひとりが戦力となるカタ技術のスタッフ

COMPANY PROFILE

株式会社カタ技術

大阪25

当社の歴史

創業したのはオイル危機直後で、機械加工も汎用機からNC機械へと移行していった時代です。ワイヤー加工機の将来性にいち早く着目し、手がけて参りました。時代のニーズにお応えするため導入した加工機は20台に上ります。現在は6台の加工機が現役でがんばっております。平成13年1月には新社長が就任し、IT時代にも対応するため、日々精進しております。

一つひとつ魂込めて社会から必要とされるものづくり。そんな企業であり続けたい。

代表取締役社長 片山 要さん



■主な事業内容

ワイヤーカット放電、型彫放電、レーザー、細穴加工

■主な取引先（納入先）

家電、自動機、樹脂金型、精密プレス金型、ダイス、刃物等の各メーカー

住所 / 〒571-0042
門真市深田町
9-8

TEL / 06-6908-9179
FAX / 06-6906-5362

創業 / 昭和49年1月
設立 / 昭和57年7月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 4名

<http://www.katagijutu.com/>